

# 衆議院経済産業委員会ニュース

平成 27.6.19 第 189 回国会第 24 号

6 月 19 日（金）、第 24 回の委員会が開かれました。

## 1 貿易保険法及び特別会計に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第 52 号）

- ・藤野保史君（共産）が討論を行いました。
- ・採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。  
（賛成－自民、民主、維新、公明、野間健君（無） 反対－共産）
- ・鈴木淳司君外 3 名（自民、民主、維新、公明）から提出された附帯決議案について、神山洋介君（民主）から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、賛成多数をもってこれを付することに決しました。  
（賛成－自民、民主、維新、公明、野間健君（無） 反対－共産）

## 2 経済産業の基本施策に関する件並びに私的独占の禁止及び公正取引に関する件

- ・宮沢経済産業大臣、山際経済産業副大臣、高木経済産業副大臣、大家財務大臣政務官、関経済産業大臣政務官、田中原子力規制委員会委員長及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 三原朝彦君（自民）

- ・知的財産権等収支の増加傾向等を踏まえた知的財産の育成に向けた取組について、宮沢経済産業大臣の見解を伺いたい。
- ・戦後の傾斜生産方式の産業政策などの既成概念を超えた革新的ビジネスを推進する必要があると考えるが、宮沢経済産業大臣の見解を伺いたい。

### 近藤洋介君（民主）

- ・山形県が進める再生可能エネルギーを活用した地産地消の取組について、宮沢経済産業大臣の見解を伺いたい。
- ・中国及び韓国への我が国の投資額が減少していることを踏まえ、投資促進のために日中韓経済貿易大臣会合等の 3 か国会合を開催する必要があるのではないか。

### 石川昭政君（自民）

- ・ドイツのインダストリー 4.0 など近年新たな展開を見せる世界の製造業の潮流について、宮沢経済産業大臣の見解を伺いたい。
- ・I o T 等を活用し業界の垣根を越えた連携を通じて我が国製造業全体の底上げに取り組む必要があると考えるが、宮沢経済産業大臣の見解を伺いたい。

### 馬淵澄夫君（民主）

- ・2030 年におけるエネルギーミックスの原発比率を達成するためには相当数の老朽原発の運転延長が必要になるのではないか。
- ・政府では 2050 年において 80% の温室効果ガス削減目標を掲げているが、その手段として一定の原発比率を維持することを想定しているのではないか。

### 篠原孝君（民主）

- ・エネルギーミックス策定に当たり政府が原発に固執する理由は「エネルギー自給率 25%」「発電コスト削減」「温室効果ガス削減」のいずれであるのか伺いたい。
- ・2013 年度比で 26% 減とする我が国の温室効果ガスの削減目標は、欧米と比べて遜色のない水準であると認識しているのか伺いたい。

### 落合貴之君（維新）

- ・広域的運営推進機関設立以降の電力会社間における地域間連系線の費用負担の在り方について伺いたい。
- ・産業革新機構が環境・エネルギー分野のファンドに出資した案件の進捗状況について伺いたい。

### 鈴木 義 弘君 (維新)

- ・特殊技術を持つ中小企業が中国等の外国企業に買収されることにより我が国の有益な技術が外国に流出しているが、政府はどのような対策を講じていくのか。
- ・国際標準化を推進できる人材の育成について、経済産業省がリーダーシップをとりながら文部科学省等と連携して取り組んでいく必要があるのではないか。

### 真 島 省 三君 (共産)

- ・川内原発に関し、九州電力及び原子力規制委員会での適合性審査等において火山専門家の意見を聴取したかどうか伺いたい。
- ・原子力規制委員会における川内原発の再稼働に関する審査において、V E I 7以上の巨大噴火が起こる可能性が小さいと判断した根拠は何か。

### 3 官公需についての中小企業者の受注の確保に関する法律等の一部を改正する法律案 (内閣提出第 40 号) (参議院送付)

- ・宮沢経済産業大臣から提案理由の説明を聴取しました。